

①「安全・安心」の分野

■策定作業班

○政策の将来像

みんながいいき笑顔のまち
～みんなさんぽに出かけよう～



■策定作業班の整理内容

○政策の将来像

・市民ワークショップ意見を改良し、市民の意見にも多かった「防災・防犯」で支え合う内容、および「医療・福祉」においても支え合う内容を前面に出したフレーズに修正。
・市民の意見、および策定作業班ワークショップにも多かった「地域コミュニティ」に関しては、政策目標⑤に属するが、協働に関しては施策横断的に取り組むため、サブタイトルはすべて「ともに～」で統一。



■修正後案

○政策の将来像

安心して健やかに暮らせるまち
～ともに支え合おう～

○政策の課題１

- ・人口減少
- ・核家族化
- ・インターネット
- ・外灯
- ・少子高齢化
- ・地域コミュニティ
- ・医療機関
- ・無感心



○政策の課題１

- ・防犯・防災パート。
- ・市民ワークショップ意見の防犯の内容で多かった防犯設備に係る内容を追加。
- ・基本構想案から重要な課題の一つである震災の内容を追加。



○政策の課題１

安全・安心は市民の生活を支える大事な基盤です。誰もが不安なく暮らしていくためには、南海トラフや中央構造線断層帯による地震などの大規模自然災害や、子どもや高齢者が巻き込まれる犯罪のほか交通事故への対応が強く求められています。

○政策の役割り１

市民：地域コミュニティの再生・強化・声のかけあい・正しい情報の共有・各種訓練

行政：地域コミュニティへの協力・各施設・設備の強化・健康づくりの推進



○政策の役割り１

- ・防犯・防災パート。
- ・SWOT分析１－２－１から強みとして最初に明記されている自主防や消防団の内容を追加。
- ・市民ワークショップの役割りで行政と市民の双方にあがっていた防災訓練を追加。
- ・SWOT分析１－２－１、１－２－２の強みや市民ワークショップにも多く上がっていた防災・防犯設備を追加。



○政策の役割り１

そのような中、消防団や自主防災組織の活動を支援するとともに、防災訓練の実施など市民とともに防災意識を高め、防災・防犯設備の充実や交通安全運動の推進により、地域一体となって防災・防犯対策を強化することが重要になっています。

○政策の課題２



○政策の課題２

- ・医療・健康、福祉パート。
- ・SWOT分析２－１－１の脅威や市民ワークショップの意見で多かった医療体制に係る内容を追加。
- ・多様な市民や価値観を語るうえで障がい者には触れておくべきと判断し、SWOT分析２－１－３の内容を参考に追加。



○政策の課題２

また、市内の医師不足や設備の充実をはじめとした医療に係る問題の深刻化を防ぐ必要があり、併せて障がいのある方や高齢者、子どもといった多様な市民が心から安心して暮らすためには福祉の更なる充実も欠かすことはできません。

○政策の役割り２



○政策の役割り２

- ・医療・健康、福祉パート。
- ・しめパート。
- ・普遍的な内容と判断される個の尊重に係る内容は旧政策目標２を踏襲。



○政策の役割り２

医療体制の充実や市民の健康づくりを推進するとともに、適切な社会保障の給付と、必要な人に適切な福祉サービスを提供し、市民がともに支え合うことで不安のないまちづくりを目指します。

②「子育て・教育」の分野

■策定作業班

○政策の将来像

共に学び育む元気なまち
～つながりを大切にしよう～



■策定作業班の整理内容

○政策の将来像

- ・「子育て・教育」の並びにあわせ「育み学ぶ」に変更。
- ・サブタイトルはすべて「ともに～」で統一。
- ・サブタイトルの「生涯」には産前から出産～子育て～学校教育～生涯学習まで、すべてのライフステージが対象であることを強調



■修正後案

○政策の将来像

育み学ぶ元気なまち
～ともに生涯学ぼう～

○政策の課題1

少子高齢化や人口減少により、人と地域のつながりが弱まりつつあります。



○政策の課題1

- ・子育てパート。
- ・策定作業班案では課題が大きすぎるため、ベースは策定作業班案の政策の課題2。
- ・市民ワークショップの課題認識で教育の方に偏りが見られたため、SWOT分析2-1-5の脅威より子育て要素を追加。
- ・子ども・子育て支援事業計画の「紀の川市の子どもと子育て家庭を取り巻く現状」の分析記述から引用



○政策の課題1

子育て・教育は次世代の子どもを育てるとともに生涯学びの機会を設けることによって市民の糧となるものです。しかし、核家族化、共働き世帯の増加により子育ての負担が増加しているほか、妊娠・出産に係る要支援家庭やひとり親家庭の増加などにより子育て環境の支援が必要となっています。

○政策の役割り1

そのような中で、多くの体験や地域との関わりを通じて、自らの個性と能力を伸ばすことが重要になってきます。



○政策の役割り1

- ・子育てパート。
- ・策定作業班案の政策課題2活用し、行政だけでなく地域で見守り支えることを明記。（子ども・子育て支援事業計画から引用）



○政策の役割り1

そのような中、地域全体で子どもや子育てをあたたく見守り支えることが重要になってきます。

○政策の課題2

また、核家族化や共働き世帯が増加し、昼間人口が減少し、地域におけるコミュニティの不足が懸念されているところです。



○政策の課題2

- ・教育パート。
- ・SWOT分析2-2-2より脅威として市外の小中学校（国立、県立、私立）への転出やそもそもの少子化による児童の現象の内容を追加。



○政策の課題2

また、少子化など児童の減少による教育環境の変化への対応や、多様な世代が生涯を通して学び合うことができる機会を更に充実していく必要があります。

○政策の役割り2

そのため、地域や世代を超えたつながりを再生すると共に、高齢者と新しい次代を担う世代が、共に学び育む元気なまちを目指します。



○政策の役割り2

- ・教育パート。
- ・しめパート。
- ・文化要素がないため追加。
- ・市民ワークショップフレーズ参考。



○政策の役割り2

地域に根ざした特色ある学校教育の充実によって学力の向上を図るとともに、幅広い世代が伝統ある歴史や文化に触れながら生涯学ぶことにより、子どもも大人も元気に育ち学び続けることができるまちを目指します。

③「産業・交流」の分野

■策定作業班

○政策の将来像

交流と活気が生まれるまち
～生きがいと行きがいを持とう～



■策定作業班の整理内容

○政策の将来像

・サブタイトルはすべて「ともに～」で統一。



■修正後案

○政策の将来像

交流と活気が生まれるまち
～ともに生きがいと行きがいを持とう～

○政策の課題1

少子高齢化社会や人口減少社会の到来などにより農業の担い手不足や耕作放棄地が増加しています。



○政策の課題1

・農業パート。
・農業の要素がないため、SWOT3-2-3、基本構想案を参考に追加。
・農林水産省「生産農業所得統計」「農業・食料関連産業の経済計算」における記述を参考（我が国の農業総産出額は生産量の減少や価格の低下等により減少を続け・・・農産物の価格の低迷は農業者の経営に大きな影響を及ぼす・・・）
・JA紀の里「第6次中期計画」の「農業・JAを取り巻く環境」における記述を参考（農業従事者の減少・高齢化や耕作放棄地の増加など農業生産基盤の脆弱化が進行）



○政策の課題1

産業・交流は市の活性化の源となります。しかし基幹産業である農業は農作物の価格低迷や農業の担い手不足、耕作放棄地の増加などといった多くの課題を抱えています。

○政策の役割り1



○政策の役割り1

・農業パート。
・農業の要素がないため、SWOT3-2-3、基本構想案を参考に追加。
・市民ワークショップフレーズとなった地産地消（就）は市民意識も高いと判断し追加。



○政策の役割り1

そのような中、農業生産基盤の維持・強化をはじめ、新規就業者の支援や更なる農作物のブランド化などを検討していくとともに、地産地消といった市民への働きかけも必要となっています。

○政策の課題2

また、就労ニーズの多様化や点在する観光資源により、人と人とのつながりが希薄化しています。



○政策の課題2

・産業・観光パート。
・策定作業班の内容をもとに修正。
・基本構想案を参考に追加。（紀の川市の現状と課題 ④雇用創出と産業振興）



○政策の課題2

また、若者をはじめとした就労者のニーズを満たす企業誘致や産業創出の強化に努め、すべての産業を活性化することで雇用の場を確保し、併せて豊富な観光資源を活かした交流を図っていくことも重要です。

○政策の役割り2

地域産業の振興や新たな地域資源の発掘等で交流を活性化し、就業人口の増加、交流人口の増加を目指し、「生きがい」と「行きがい」のあふれているまちを目指します。



○政策の役割り2

・しめパートに紀の川の強みとして市民意見の最も多いフルーツを追加。



○政策の役割り2

フルーツなどの強みを活かし、特色のある地域産業の振興や点在する観光資源の効果的な活用などによって交流を活性化させ、「生きがい」と「行きがい」のあふれているまちを目指します。

④「都市基盤・生活環境」の分野

■策定作業班

○政策の将来像

環境と調和するまち
～自然といっしょにいきよう～



■策定作業班の整理内容

○政策の将来像

・都市基盤について市民ワークショップ意見（みんなが住みやすく交通整備が整ったまち）を参考にフレーズ「快適」を追加
・サブタイトルはすべて「ともに～」で統一。



■修正後案

○政策の将来像

快適で環境と調和するまち
～ともに自然と生きよう～

○政策の課題1

高度経済成長期に建設された大量のインフラが、維持更新できずに景観悪化や機能不全・低下がみられます。



○政策の課題1

・都市基盤パート。
・策定作業班の内容をもとに修正（公共施設マネジメント計画の記述も参考）。



○政策の課題1

都市基盤・生活環境は市民の生活インフラを支える必要不可欠なものです。しかし、高度経済成長期に建設された大量のインフラが、維持更新できずに機能不全や安全性の低下に陥り、景観悪化につながる恐れがあります。

○政策の役割り1



○政策の役割り1

・市民意見で多い交通の利便性などに係る内容をSWOT分析3-1-1、3-1-2、基本構想案を参考に追加。



○政策の役割り1

そのため、計画的なインフラの更新を進めていくとともに、関西空港や大阪へのアクセスの良さを活かしながら更なる交通の利便性を高めた都市基盤の形成が重要です。

○政策の課題2

また、山遊びや地産地消などに対する意識の高まりもあり、自然とのふれあいも重要視されつつあります。



○政策の課題2

・生活環境パート。



○政策の課題2

また、紀の川をはじめとした美しく豊かな自然環境を大切にし、次世代に繋いでいくことも重要です。

○政策の役割り2

そのために、計画的な環境整備をすすめるとともに、市民が環境の意識をもってまちづくりに参加し、市民と市が一体となって調和のとれたまちづくりを目指します。



○政策の役割り2

・生活環境パート。
・しめパート。
・策定作業班の内容を微修正。



○政策の役割り2

そのために、市民が環境の意識をもってまちづくりに参加する仕組みを構築し、市民と市が一体となって快適で環境と調和のとれたまちづくりを目指します。

⑤「地域づくり・行政経営」の分野

■策定作業班

○政策の将来像

ともに参加し、健全な行財政のまち
～みんなで考えよう～



■策定作業班の整理内容

○政策の将来像

- ・微修正。
- ・サブタイトルはすべて「ともに～」で統一。



■修正後案

○政策の将来像

健全で自立したまち
～ともに参加しよう～

○政策の課題1

少子高齢化や核家族化の進行、女性の社会進出や個人の価値観の多様化などにより、人と地域のつながり、人と人とのつながりが希薄化しつつあります。



○政策の課題1

- ・地域づくりパート。
- ・和歌山県総合計画参考にし、コミュニティに係る課題を修正。



○政策の課題1

地域づくり・行政経営は自治体の根幹を担うものです。しかし、人口減少や少子高齢化に伴い、地域づくりやコミュニティ形成のあり方にも変化がみられることから、これまでのつながりと併せて新しい人と地域のつながり、人と人とのつながりが求められています。

○政策の役割り1

そのような中で今後、市民と市、地域同士が相互に連携し、みんながまちづくりに参加することが重要になってきます。



○政策の役割り1

- ・役割りは一つに統一。



○政策の役割り1

○政策の課題2

また、人口減少に伴う税収の減や合併算替の終了による地方交付税の減など厳しい財政状況のなか、多様化する市民ニーズに的確に対応していく必要があります。



○政策の課題2

- ・行政経営パート。
- ・基本構想案を参考に微調整
- ・具体的な内容としてワークシート参考に追加。



○政策の課題2

また、市民生活の多様化が進む中、新たな市民ニーズや課題に的確に対応するため効果的で効率的な行政経営が必要であり、地方分権の進展からより一層の責任と創意工夫が求められています。

○政策の役割り2

そのため、積極的な情報公開により行政の透明性を高めるとともに、行政経営の視点で、効率的で効果的な行財政運営をしているまちを目指します



○政策の役割り2

- ・しめパート。



○政策の役割り2

そのような中、市民参画によるまちづくりを進めることにより、市と市民が一体となった行政経営を行っていくことが重要であることから、行政評価など積極的に活用し持続可能で健全なまちを目指します。